

令和8年3月17日
諏訪市立諏訪南中学校長 増村隆洋

令和7年度 後期終業式 校長講話

それでは、後期終業式の校長講話を始めます。

各学年の代表生徒が「後期の振り返りと来年度の抱負」について、プレゼンテーションで発表してくれました。2年生は3名の生徒がそれぞれ自分の得意な分野を担当して一つの発表してくれました。作文を書く生徒、それをプレゼンテーションに加工する生徒、そしてみんなの前で発表する生徒といったかたちでした。とても素晴らしいことだと思います。2月におこなったスクールミーティングで「自分のふつうは相手にとってもふつうか」ということについて考え合いました。お互いの苦手なところをカバーし合いつつ、得意なところを表現するという意味でも、今回の2年生のような発表スタイルも十分ありだと思います。もちろん一人で作文、プレゼン、発表の全部に挑戦するのもOKですね。1年生、3年生の代表者の生徒もありがとうございました。

さて、今日は先程の2年生の発表のように、一人ひとりに得意や不得手があり、個性がある。そんな自分らしさを大切に歩んでほしいという願いを込めて、ここにある「さくららら」という本の読み聞かせをしたいと思います。



「さくららら」 升井純子（文）小寺卓也（写真） アリス館
わたし さくらです。せはひくいけど りっぱなさくらです。
すこし ふあんもあるけど、さくらちゃんはゆっくりじっくり じゅん
びして、じぶんのいっぽをふみだします。
〈中略〉

「わたしがさく日は、わたしがきめる」

校長先生が卒業する3年生、そして新たなステージに進む1、2年生に送りたいメッセージは、「私が咲く日は、私が決める」 そう、「あなたが咲く日は あなたが決めればいい」ということです。みんな一緒になくていい。それぞれに個性があります。その個性を大切に、他者と比較するのではなく、自分なりに、そして自分らしく進んでほしいと思います。いつも応援しています。

明日は卒業式ですね。

3年生には贈ってもらう、祝ってもらう幸せを感じてほしい。

1、2年生には贈ってあげる、祝ってあげる幸せを感じてほしい。

全校のみなさんに、南中全員で素晴らしい卒業式をつくることのできる幸せを感じてほしい。
終わります。